

YASHENG HUANG

- MIT Professor and author of *Selling China*

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Yasheng Huangは、MIT Sloan School of Managementの国際経営学の准教授です。彼は2003年にMITに入社しました。彼の以前の任命は、ミシガン大学の助教授、ハーバード大学の准教授、そして世界銀行のコンサルタントを含みます。

黄教授の研究は、国際ビジネス、政治経済、そして制度問題に焦点を当てています。最近出版された著書『*Selling China*』(Cambridge University Press、2003年)は、中国における対外直接投資(FDI)の制度的推進力を調べています。中国におけるFDIに関する他の多くの研究とは異なり、この本は、中国の金融機関および法律機関の非効率性のいくつかがFDIの流入を促進してきたことを示しています。これらの非効率性の主な影響は、国内企業の競争力の平均水準の低下であり、これは外国企業にとって多くの好条件を生み出しています。

Topics

- Asia
- China
- Economics
- Globalisation
- Management

Yasheng Huangは、国内企業の制度的環境と起業家精神を分析することによって、このようなFDIの見方を拡大し、国内企業の競争力を他の国々にまで広げています。現在、中国とインドで民間セクター開発に関するプロジェクトに取り組んでおり、外資とFDIの制度的決定要因に関するいくつかの論文を書いています。